



▲「初秋の上高地」 豊江支部 東 昇

CONTENTS

- | | | |
|---|--|---|
| 2 | <p>地本・支部だより</p> <p>●名古屋地方本部
地元で「武豊線の歴史と魅力」を講演
『白寿会員 遊書さん』が元気で総会に出席
「一番列車は西からやってきた。」
一なつかしの鉄道展開催—
夏休み「孫たちと一緒に」にリニア・鉄道館へ</p> <p>4 ●静岡地方本部
山梨リニア実験線を見学
地域のG-G同好会と一緒に観陸旅行</p> <p>5 ●東海東京地方本部
「一緒に楽しい時を過ごす」OB会総会</p> <p>●東海大阪地方本部
絆を深める地本の総会</p> <p>6 JR東海トピックス</p> <p>7 東海鉄道OB会 会員優待情報</p> <p>10 お元気ですか? 名古屋セントラル病院
怖い不整脈と怖くない不整脈</p> | <p>11 読者のひろば</p> <p>武豊線にかかわった私の人生 加藤 晴
介護施設に入所して 吉橋 信夫
一枚の紙の重さ 西尾 美智造
一人でも続ける戦没者慰霊祭 澤邊 邦雄</p> <p>13 投稿ページ</p> <p>大府支部 家田 実
鳥田支部 鈴木 安
浜松東支部 小松 義一</p> <p>14 インストラクター</p> <p>水原高で支部と地域に貢献
伊後 滝一(中津川支部)</p> <p>我が支部の誇り
郷土 松阪の由緒ある三大祭の
長島 肇一郎(松阪支部)</p> <p>15 文芸
編集後記</p> |
|---|--|---|

名古屋地方本部

地元で「武豊線の歴史と魅力」を講演

半田支部 成田 信幸

地元東浦町教育委員会から、当支部に石浜地区高齢者教室で「武豊線の歴史等について」の話をしてもらいたいと依頼がありました。当支部では、早速支部長及び役員が集まって相談し、みんなで協力して7月3日、石浜コミュニティーセンターで約90名の石浜地区の人達の前で寺田和好会員が講演しました。

参加者は、高齢者が多いため、鉄道資料館に保管してある武豊線内の駅の変遷表や30kのカットレールそして犬釘等を会場に持ち込み、出来る限り実物と手旗による入換合図等を実演して分かり易く説明しました。

武豊線の建設の経緯には、皆さんが真剣な表情で聞き入っていました。また、特に土地提供等地元協力の多くのお土木技術者（黒徹集団）が力になり、干拓地を通り盛土とし「武豊-熱田間」を工事着工からわずか7カ月の、明治19年3月に開通したこと話に感動されていました。この身近な武豊線が、東海道線建設の重要な資材輸送として敷設され、今



▲高齢者教室で講演をする成田会員

でも線内には当時のままの半田駅跨線橋、竜崎駅駅舎、C11蒸気機関車等の鉄道文化遺産が数多く残っています。

この武豊線が、来年春には電化が完成し都市圏輸送としてますます重要な役割を担い、歴史と魅力ある路線であることを多くの方々に知ってもらい大変うれしく思いました。

「白寿会員 渡邊さん」が元気で総会に出席

名古屋運輸車両支部 鈴木 延治

当支部の第49回総会を、去る5月25日名古屋駅近くの「つちやホテル」で開催しました。当日は天候に恵まれ来賓の方4名を含め57名の方が参加されました。

総会の冒頭、昨年亡くなられた方に対して黙祷を捧げ、続いて支部長が挨拶の中で「ある先輩が、昨年東京に引っ越され米寿で大学に入学、都市計画やデザイン関係の講義を受けられている」ことに触れ、先輩は2年間の学校生活を終えると、卒業時には90歳になられます。先輩は非常に元気で、はつらつとして船学に助んでみえます。多くの人が歳をとると、もう俺は歳だからと隠居生活に入りがちですが、「まだやれる、やる事が有る」と思って行動する人は、こんなにもいきいきと生活出来るものかと感心させられたという話を紹介されました。

また、総会では、今年白寿を迎えられた渡邊喜義さんが元気に出席され、支部長から寿詞とお祝いを受けられました。そして、みんなに向かって両手を高々と上げてお礼を言われて着席されました。また懇親会では、元気いっぱい声を張

り上げ乾杯の首領をとられるなど、白寿の方が主役の賑やかな宴会となりました。

宴会半ばには、当支部のインストラクターの平林平八郎さんが、手品を披露されホテルの皆さんも一緒に見物する等それは楽しいひと時となりました。



▲元気に寿詞を受けた渡邊さん

“一番列車は西からやってきた、” —なつかしの鉄道展開催—

重井支部 北村 忠行

平成26年は、重井駅が開業130周年を迎え、町文化協会とOB会重井支部が共催で「一番列車は西からやってきた」をキャッチフレーズに重井のおもてなし処「たるい庵」で、5月2日と3日の2日間「なつかしの鉄道展」を開催しました。

展示品は、支部の会員が中心となって揃え、機関車の模型、パネル、プレート、重井駅で使っていた乗車券箱、改札鉄、朝服、乗車券、ジオラマ等を展示しました。

当日は、入場記念に乗車券(名古屋～重井・新重井・岡ヶ原)を作成し、改札鉄を入れて入場、入口で子どもに制帽をかぶせ記念撮影を行いました。展示場内では、模型の機関車を走らせ、子どもたちに大変な人気を呼び、1,200枚用意した乗車券は1日で無くなるほどで、2日間で3,000人を超える入場者がありました。

会場内は、重井駅の昔話に花が咲き、なつかしい人々のふれ合いの場となり地元を中心に大きな話題となりました。そ



▲ニッコリと制帽をかぶる来場者

のため、予定を延長して5月4日と5日にも開催し、重井駅130周年を盛大に盛り上げました。

夏休み「孫たちと一緒に」にリニア・鉄道館へ

三河支部 鷲尾 修一

今まで話題になりながら、なかなか実現しなかった「リニア・鉄道館」の見学会を、孫たちが夏休みに入ったのを機に「孫たちと一緒に」に行こうということになり、7月30日に会員・家族それに孫たち25名が参加し開催しました。そして、リニア・鉄道館には「あおなみ線」で行こうということになり、当日、名古屋駅改札内の乗換口に集合し、高架鉄道からの車窓を楽しみながら、11時前に到着しました。

早速、金子館長から映像を使って館内展示車両やジオラマなどの説明を受けました。そしてエントランスホールでは、世界最高速を記録したC62形蒸気機関車、新幹線300X、リニアMLX01の展示車両と、その記録映像を観賞するなど、その後の見学や体験に期待が膨らみました。

懐かしい車両の前では、会員同士が思い出話を花を咲かせ、孫たちは新幹線や在来線運転、車掌体験をしながら元気よく飛び回っていました。また、リニア展示室のミニシアターで、タイヤ走行と浮上走行の500キロの模擬体験を行い、巨大なジオラマの前では歓声

が上がるなど、孫たちの顔が笑顔で輝いていました。

お昼には、みんなでデリカステーションの「新幹線50周年特選弁当」を味わいながら、13年後のリニア開業に向けての話題で盛り上がり、思い出に残る楽しい夏休みの一日となりました。



▲元気な孫たちと一緒にの会員・家族のみなさん

静岡地方本部

山梨リニア実験線を見学

飯田支部 林 二一

リニア中央新幹線建設がいよいよ具体的に走り始め、私たちの住む地域も俄然盛り上がり活気づき出しました。

ルートや停車駅設置場所もほぼ具体的に決まりつつある状況の中で、私たち鉄道OBとしても、座して手を拱いているばかりでは心細やかになれず、ぜひ実物が見たいと支部幹事会で話が出ていました。ちょうどその時、JAによる「山梨リニア実験線見学」ツアーが企画され、早速有志を募ったところ、12名(準会員1名)の参加申し込みがありました。

4月16日、朝6時出発。当日は天候も良く清々しい青空と山並み、そして里では桜と桃の花が満開で素晴らしい景色を満喫しながらのツアーとなりました。しかし現地では、運悪くリニアが走行している勇壮な姿は見られませんでした。山梨の駅予定地や残土処理場そしてリニア見学センターを見て回ることが出来ました。



▲リニア見学センターで参加者約12名

これらの施設を実際に見学したことにより、南アルプスから恵那山を走り抜ける2027年開業のリニア中央新幹線に夢を馳せました。それまでは、「首が健康で元気に過ごし本物に乗りたいたいもの…」と語り合い、お互い体力づくりに励もうと約束するなど楽しい一日を過ごしました。

地域のG・G同好会と一緒に親睦旅行

湖西支部 本多 喜一

当支部グラウンドゴルフ同好会は、昨年に続き地域の長寿会属津浦グラウンドゴルフ同好会との交流親睦旅行を開催しました。今年は、6月25日21名が参加され、バスで愛知県形の原温泉へ1泊2日のラウンドと旅行を楽しみました。

天気恵まれたこの日、日ごろの練習の成果を競う、交流グラウンドゴルフ大会を開催し、参加者は暑さも忘れ真剣にラウンドしました。

夜は、ホテルで宴会を開き、昼間のグラウンドゴルフの成績発表と表彰式を行いました。そしてみんなでカラオケ大会やお楽しみ抽選会をする等、宴会は大いに盛り上がり時間のたつのも忘れるほどでした。

宴会の後は、それぞれゆっくりと温泉に浸かり疲れを癒し、明日への活力を養い、次回への期待を膨らませていました。

大会の成績は次のとおりです。(敬称略)



▲元気にいっぱいのお楽しみ会

○グラウンドゴルフ大会

優勝 三井 重徳
準優勝 菅沼 洋子
三位 北角 敏行

○カラオケ大会

・歌唱賞 感激賞 瀬澤 セツ
感動賞 遅美 敬子
感心賞 星川 冬次
・大賞賞 麦畑 瀬澤 典年
岡 菅沼 たつ子

東海東京地方本部

「一緒に楽しい時を過ごす」OB会総会

東海東京地方本部 事務局

平成26年度当地方本部の定時総会を、7月6日東京駅近くの「カスピタ東京」で開催しました。

当日は、生憎の雨で足元が悪い中、来賓としてJR東海から稲葉執行役員総務部長、東山取締役常務執行役員新幹線鉄道事業本部長等が出席され、また、OB会から渡部東海東京地方本部長はじめ会員80名が参加されました。

総会では、平成25年度事業報告、決算、続いて平成26年

度予算(案)、行事予定、事務局の役員改選(案)の議題を提出し、全て滞りなく承認されました。本年度は特に事務局長と事務局員が交代し、新年度から新たな体制で盛り事になりましたので、皆様のご協力をお願いします。

また、総会後の懇親会は、ご出席いただいた来賓の方々を交えて、色々な話題で各テーブルが大いに盛り上がり、みんな一緒に楽しい時を過ごす事が出来ました。



▲総会の風景



▲天竺の懇親会の様子

東海大阪地方本部

絆を深める地本の総会

東海大阪地方本部 事務局

当地方本部の第10回総会を、7月23日「ニューオオサカホテル」で開催し、59名の会員の方が出席されました。

総会の冒頭、和泉地方本部長が挨拶されその中で「『あれ』の変遷」と言う新聞記事を紹介され、会員の興味を引きました。「中年期には『あれ』を至急あれしてくれ」と言えば、心得た部下は思い通りのあれをあれしてくれた。しかし高齢者の仲間入りしてみると、物の色や形は明確に浮かぶのに名前が出てこないため『あれ』になって来た。高齢に伴い『あれ』の多用が、やがて心配事や世への関わりを忘れ、心穏やかな晩年を迎えられるように出来ているのかもしれない。」という話をされ、参加者の共感を呼びました。

総会では、平成25年度活動、収支決算の報告、そして平成26年度の活動方針、予算、役員改選(案)が提案され全て全会一致で承認されました。



▲懇親会開始前の様子

また、懇親会には来賓として稲葉執行役員総務部長、田中執行役員関西支社長等が出席され、稲葉総務部長から「昨年度の純利益が過去最高になる等、JR東海の現在の好調な礎となっているのは、OBのみなさんが各方面で努力されて来た賜です」と挨拶されました。

その後、田中関西支社長の乾杯の冒頭で懇親会に移り、数話や近況の話で旧交を温め、有意義な時間を過ごしOB会の絆を深めていました。

東海道新幹線の速度向上に関する認可 最高速度を時速285kmに 15km向上

●新幹線鉄道事業本部

当社では、鉄道事業法に基づき、東海道新幹線の最高速度の向上に関する事業基本計画変更の認可申請を行い、平成26年7月14日に国土交通省から認可を受けました。

具体的には、最高速度を現在の時速270kmから時速285kmに15km向上する内容で、速度向上を実施するのは、「のぞみ」を導入した平成4年以来、23年ぶりとなります。速度向上することができる対象車両は、N700A及びN700系(改造)です。これらの車両は、中央連結プレーキ



ディスク搭載によるブレーキ力向上や空気タンク増設による車体傾斜区間の拡大等を実現した結果、速度向上が可能となりました。

これらの車両を速度向上することにより、東京～新大阪間の所要時間を2～3分程度短縮することが可能となります。また、対象となる車両はすべて時速285kmで運転できるようになるため、列車に遅れが発生した場合も、ダイヤに余裕があれば、これまでより早く回復することが可能となります。

現在、時速285kmでの運行に向けて試験車両であるX0編成を用いて、東海道新幹線全線の最終確認走行を行っております。また、9月下旬からは、乗務員の運転操縦訓練を開始するなど、来年春の営業運転に向けて万全の準備を進めていきます。

【速度向上の概要】

- 最高速度…時速285km
- 対象車両…N700A及びN700系(改造)
- 営業運転開始時期…平成27年春(予定)
- 運行計画
平成27年春の時点では、おおよそ毎時1本を時速285kmで運転するダイヤ

平成26年 春の叙勲

葛西敬之名誉会長が 「旭日大綬章」を受章

●秘書部

平成26年春の叙勲において、葛西敬之名誉会長が「旭日大綬章」を受章しました。「旭日大綬章」は、国家または公共に対し、特に顕著な功績を挙げた方に授与される勲章です。

葛西名誉会長は、昭和62年4月に当社取締役役に就任後、副社長、社長、会長を歴任し、その間我が国の大動脈である東海道新幹線と東海地区在来線の安全・安定輸送を確保しつつ、その飛躍的な発展を実現するとともに、超電導リニアによる中央新幹線計画を大きく進展させ、我が国の交通体系の強化、ひいては社会、経済の発展に大きく貢献しました。

また、平成18年から5年間、国家公安委員会委員として公共の安全と秩序の維持に尽力するなど、公職においても顕著な功績を挙げました。今回の受章は、葛西名誉会長の

これらの功績が高く評価されたものです。

5月9日、大授章親授式が皇居・宮殿「松の間」で行われました。式典では、天皇陛下から葛西名誉会長ら受章者に勲章が手渡され、「長年、それぞれの務めに精励し、国や社会のために、また、人々のために尽くしてきたことを深く感謝しております」とお言葉がありました。



▲「旭日大綬章」を受章した葛西名誉会長(おから4人目)

名古屋マリオットアソシアホテル

中国料理「梨杏」特別優待

名古屋マリオットアソシアホテルの中国料理「梨杏」において、東海鉄道OB会会員様向けの特別優待をご用意しました。

ホテル18階に位置する中国料理「梨杏」では、広東料理をベースに、上海をはじめ中国各地の名菜をお届けしています。

秋のメニューといたしまして、中国蘇州、陽澄湖ブランドの上海蟹が楽しめる期間限定の贅沢な「上海蟹フェア」を開催いたします。旬の味わいが口いっぱいに広がる至福のひとときをご提供いたします。

優待価格でお召し上がりいただけるこの機会に、ぜひご利用ください。

中国料理「梨杏」特別優待

料理・飲食代金10%割引

期間 平成26年10月1日～12月31日

- ※ご来店の際、「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください。
- ※0日会会員1名様につき、お連れ様人数分も優待致します。
- ※特別優待商品、プラン商品等、一部割引適用外の商品がございます。
- ※他の割引との併用は致しません。

上海蟹フェア 期間 10月上旬～11月末

上海蟹ランチ

8,500円 → **7,650円**

上海蟹コース

15,000円 → **13,500円**

上海蟹特選コース

20,000円 → **18,000円**

※サービス料別途



料理イメージ(上海蟹)



料理イメージ(ランチコースほか)

営業時間 ランチ 11:30～14:30

ディナー 17:30～22:00(ラストオーダー20:30) 土日祝は17:00～

ご予約・お問い合わせ 中国料理「梨杏」 TEL 052-584-1103(店舗直通・受付時間10:00～22:00)

ホテルアソシア高山リゾート

秋のご宿泊優待プラン

高山本線全線開通80周年ならびにホテルアソシア高山リゾート開業20周年を記念して、ホテルアソシア高山リゾートでは、東海鉄道OB会会員様向けに、秋の飛騨高山を満喫いただける「秋のご宿泊優待プラン」をご用意しました。

秋のご宿泊優待プラン

1泊夕・朝食付 2名1室 お一人様料金 (サービス料別途)

平休日 **18,500円**

休前日 **23,400円**

※3名1室の場合は (お一人様)

平休日 **16,400円** 休前日 **19,100円**

※夕食は日本料理「華雲」にて季節の素材を使用した「華雲会席」をご用意

※夕食は7,410円相当のお料理です。
※会員の住入れ状況により、一部メニューが変更となる場合もございます。
※夕食営業時間 17:00～21:00
※朝食はバイキングです。



料理イメージ(華雲会席)

東海鉄道OB会
会員様向けの特典

- デラックスルームをご用意
- 10階以上の高層階をお約束

JR利用の方はこちらのプランもどうぞ
＜JR往復付き旅行商品＞

JR東海 ツアーズ 高山本線全線開通80周年&ホテル開業20周年記念 ホテルアソシア高山リゾート

(～2014年11月30日の毎日出発)
※一部除外日があります

往復JR+宿泊 (1泊夕・朝食付)

東京・品川駅発着 **¥42,800～**

名古屋駅発着 **¥27,500～**

静岡駅発着 **¥37,800～**

新大阪駅発着 **¥36,800～**

(2名1室、お一人様あたりの金額)

3つから選べる特典付きなど、周年記念の特別プランです。

お申込みはお近くのJR東海ツアーズ各支店まで

※上記宿泊優待プラン以外でホテルアソシア高山リゾートのレストランをご利用の場合、10%割引となります(お飲物は対象外)。ご来店の際、「東海鉄道OB会会員証」をご提示ください(ただし一部店舗・商品を除きます)。

10種類の賞天風呂と2種類の内湯からは、天気の良いれば雄大な北アルプスを眺めることができます。

・チェックイン/アウト 15:00/12:00

・駐車場完備

・JR高山駅から無料シャトルバスあり。または駅から車で約10分

ご予約・お問い合わせ

ホテルアソシア高山リゾート

TEL 0577-36-0001

感謝のこぼ

● JR東海硬式野球クラブ



種業秀夫 会長(執行役員 総務部長)

この度の都市対抗野球大会初戦には、4,400名の方々に東京チームまで足を運んでいただき誠にありがとうございました。皆さまの熱い応援を受け、2年連続優勝のJX-ENEOS相手に善戦はしましたが惜しくも4-5で敗れました。今後、この大会の経験を活かし、秋の日本選手権大会、来年の都市対抗野球大会に向けて磨き上げてまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



青山真也 監督(総務部長)

初戦は三連休前の金曜日もかわからず、たくさんの方にスタンドへ足を運んでいただき、ありがとうございました。皆さまの熱い声援を肌で感じる事ができました。結果は初戦敗退という本意に悔しい結果となりました。この悔しさを糧に9月2日に行われる日本選手権予選で代表権を獲得し、11月1日から行われる本大会(京セラドーム)に出場したいと思えます。引き続き野球クラブに温かいご声援をよろしくお願ひいたします。



伊藤暢啓 主席(安全対策部)

都市対抗野球大会での多大なるご声援、誠にありがとうございました。大勢の方々の大歓声の中、プレーできたことに感謝しております。1回戦敗退という悔しさを忘れず、秋の日本選手権大会、来年の都市対抗野球大会で勝ち上がっていくチームになるため、日々の練習に励みたいと思います。今後とも温かいご支援、ご声援をよろしくお願ひいたします。



◎試合後、大塚会館に挨拶する種業会長



応援ありがとうございました。



◎一番悔しい思いをしているのは選手たち……。激戦を終えた選手たちがスタンドに整列すると、応援スタンドは立ち上がり、惜しみない拍手を送り続けた。「(プレイゲーム!)」涙を浮かべながら声を枯らして選手たちの労をねぎらった。



私設応援団 結集!!

◎スタンドには選手が所属する職場の仲間が大集合! グラウンドで躍動する選手とともに闘った。

当社キャラクターもかけつけた



がんばれいっつ!

◎昨年登場した「さわやかフォーキング」キャラクターのあゆむ君に加え、静岡地区からさわちゃん・ぼぼちゃん・陸妹が応援にかけつけた。



同点に追いつかれた直後の6回表、JR東海は集中打で2点を追加。待望の追加点にスタンドのボルテージは最高潮に!

熱闘 東京ドーム

感動をありがとう!

◎ 監督社長による地球式

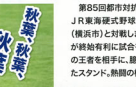


秋葉、秋葉、秋葉!

◎ 強力打撃を相手に完璧なピッチングをみせた秋葉。5回にソロホームランを浴びるも、落ち着いたマウンドさきで7回を1失点に押し止めた。



放せ!



王者相手に強烈パンチ



もっと熱くなれ!
俺たちがついているぞ〜っ



わっしょい!
わっしょい!

◎ 待望の追加点に両手を組んでラインダンスが始まる。

第85回都市対抗野球大会(東京ドーム)に4年連続26回目の出場を果たしたJR東海硬式野球クラブ(名古屋市)は、大会初日の7月18日、JX-ENEOS(横浜市)と対戦しました。初回先頭打者ホームランで幕を開けた試合は、JR東海が終始有利に試合を選びましたが、終盤逆転を許し惜敗しました。大会2連覇中の王者を相手に、臆することなく懸命に闘った選手たち、勝利を信じて応援し続けたスタンド。熱闘の様子をお伝えします。

7/18(金) 18:30~

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
JR東海(名古屋市)	1	0	0	0	2	0	1	0	4	
JX-ENEOS(横浜市)	0	0	0	1	0	0	4	X	5	

◎ 試合は序盤から白熱。1回表、先頭の小島(トヨタ自動車)が初球を強襲。打球が右翼席に吸い込まれると3塁側スタンドに詰めかけた約6,400名の応援団は大興奮。8回には佐藤二(ヤマハ)が一発を放つなど、青山采配に背強選手が応えた。



◎ この日のために猛練習を重ねた応援団。プラスバンドと息の合ったダンスやマイクパフォーマンスでスタンドをアツク盛り上げた。



怖い不整脈と怖くない不整脈

名古屋セントラル病院
循環器内科 医師 後藤 裕美



不整脈の治療方法

皆さんは息切れ、めまい、動悸、脈が飛ぶといった症状はありませんか？その原因は不整脈かもしれません。不整脈は心臓に何らかの病気を持っている人だけでなく、加齢や体質的なもの、生活習慣の乱れによっても起こります。多くの不整脈は無害ですが、早期の治療を要する怖い不整脈もあり、注意が必要です。

急な意識消失や失神、脈が40回/分以下で体を動かすと息切れやめまいがする、突然の動悸などの症状があったら、早めに当院の循環器内科にご相談ください。不整脈の治療は、脈が遅い場合はペースメーカー治療、速い場合は内服治療と高周波カテーテルアブレーション治療があります。

<高周波カテーテルアブレーション治療>

日本では10数年前から行われはじめた比較的新しい治療法で、大病院を中心に今では年間一万数千例が行われており、当院でも実施が可能です。開胸せず治療ができ、不整脈によっては完全に治るものや内服が不要になるものもあります。

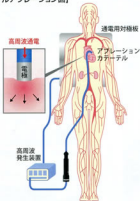
早めの検査や治療を

心筋梗塞などの心疾患は日本人の年間死亡数第2位*（死亡数全体の16%）であり、その多くは自覚なく進行します。当院では、不整脈だけでなく、狭くなった心臓まわりの血管を拡げる冠動脈のカテーテル治療もおこなっています。体への負担が少なく高精度な心臓画像診断ができる冠動脈CT検査は、短時間で検査が可能です。気になる症状や心配なことがある方はご相談ください。

【生活習慣の乱れが危険な不整脈を招く】



【カテーテルアブレーション図】



足の付け根の血管から細い管（カテーテル）を心臓内に挿入し、高周波通電を行い異常な電気の発生場所や通り道を焼いて治療。
治療：2～4時間程度。局所麻酔。
治療後：3～5日程度入院。退院後すぐに普通の生活が可能。

(*)平成24年人口動態統計、厚生労働省による

武豊線にかかわった私の人生

半田支部
加藤 靖

私と武豊線のかかわりは、国鉄に就職し昭和27年7月半田駅に初出勤してスタートしました。当時の半田駅は、駅長以下45名で東成岩駅も半田駅長の管理下で、合計50名の職員で仕事をしていました。

入社2年目の昭和28年9月25日の台風13号(風速45m)に遭遇したことは、私の鉄道人生で忘れられない思い出になりました。当日私は、東成岩駅で助役と2人で勤務していました。午前中の台風情報で愛知県地方へ来襲すると報じられていたが、そして、予報どおり15時ごろから急に風雨が激しくなり、駅の北側を流れる神戸川の水が、またたく間に堤防すずれに上昇し、今にも溢れんばかりになりました。

17時30分に、武豊行きの第936列車が発売して行きましたが、すぐ前方の非常信号を見てバックしてきました。乗務員は、そのまま運行で半田駅まで行きたい意向でしたが、私は先程の川のの様子を説明し、機関車を先頭で運転するよう打ち合わせしていたら突然高潮に襲われました。私は、お客様を誘導して、近くの川崎製鉄所の事務所(2階建)に避難させ、舟で救援に駆け付けた半田駅の職員に引き継いだときは、思わず全身の力が抜けた感じがしました。

続いて6年後の昭和34年9月26日には、中部地方

に未曾有の災害をもたらした伊勢湾台風が襲って来ましたが、前回の経験を生かして早めの対策をとり、車両等の被害を最小限に抑えることが出来ました。

その後武豊線は、モータリゼーションに加え、並走する各鉄電車のスピードとフリークエンシーサービスで、名古屋への人の流れを奪われ、武豊線の営業係数は悪化し昭和55年には456(名鉄局全体で195)となりました。これに合わせるかのように、駅前の賑わいも名鉄電車の駅前に移ってゆき、鉄道が地域の活性化にいかにかかわっているかを思い知らされました。

私は昭和61年4月に半田駅長を命ぜられ、実に23年振りに武豊線に戻って来ましたが、昭和61年は、私の鉄道人生で一番酷く、辛い一年となりました。国の方針で、国鉄の分割・民営化が決まり、32万人の職員を民営化後は22万人で立ち上げるとうもの、10万人の再雇用が最大の課題で、当然労働組合はこれに反対、激しい対立の狭間で現場管理者として苦しい毎日でした。

人や物の集積があって地域は活性化します。名古屋という大都市に直結する武豊線は、先行投資が不可欠で、JRになって駅舎は使いやすく綺麗になり、車両も新車が投入され、名古屋への到達時分が大幅に短縮される等、利用し易い武豊線に生まれ変わりました。さらに、平成27年3月に全線電化が予定され、大都市近郊らしい電車が走り名古屋がより近くなることに夢を膨らませているOBの一人です。

介護施設に入所して

陶都支部
吉橋 信夫

私の家の前に、糖尿病専門の病院があります。その病院が介護施設を造り糖尿病で通院するのが大変だと云う方のために、サービス付高齢者向け住宅が出来ました。

妻を亡くして20年、ずっと独りで暮らしてきましたが、88歳の時、胃癌を宣告され胃の3分の2を切除し、今は3分の1の生活です。先日3年が経過したので、他に転移していないかとCTやレントゲン撮影してもらいましたが、大丈夫との結果でしたのでホッとしました。

多治見は全国一の暑い町です。昨年7月に真夏日が1週間ほど続き、私は熱中症にかかり救急車で県病院に運ばれ、点滴をしてもらい帰りはタクシーで帰りました。ちょうどその頃、我が家の向かいにこのサービス付高齢者向け住宅が完成し、見学に行くところ部屋が18㎡で、部屋にはトイレがあり、ベッドの横には緊急用ベルが付いています。これなら入所しても安心して生活できると思っていました。部下はもちろん/リフリーになっていました。

私は、介護保険がなければ入所出来ないと思っていたところ、一定の料金さえ払えば入所出来ると言われました。早速甥に相談すると、甥も大賛成で直ぐに入所

しろと言うのです。これは、自分が我が家を見守るのが助かるからです。

そして、私は入所しました。この施設は三度の食事が美味しい!! 今まで私が食べたことのないような、素晴らしい食事がばかりで驚いています。スタッフの方でも身体的で、優しくしてもらい本当に住み心地が良く有り難く思っています。

4階の私の部屋の窓からは、私がアトリエとして使っていた屋根が丸見えです。生垣はこの時期、連翹の花が盛りです。家に帰って花を切ってきて、食堂のテーブルに飾るとみんなが何という花ですかと聞かれるので、「連翹(れんぎょう)」と紙に書いて花瓶の横に貼っておいたところ、大変喜ばれました。また、お風呂も毎日入れますし、そして、洗濯も自動で綺麗に仕上がるのですっかり好きになりました。

これで、私は「おやじの合組」を退団し、桔梗大学も20年続けましたが終止符を打ちました。ここを最後の棲家として命のある限り頑張りたいと思っています。

妻逝きてより20年 独り身の

91歳の 春を迎えり

四階の 窓より我が家 眺むれば

生け垣となす 連翹咲き初む

一枚の紙の重さ



恵那支部
西尾 美智造

私は昭和26年、多治見駅に勤めていた時、助役さんから西尾君、駅長が呼んでいるからといわれ駅長室に行きました。

駅長室には駅長を真ん中に、左右に多数の職員がいて、〇〇職員を知っていますかと尋ねられ、私の家の前の人で中津川機関区に勤めていますと答えたところ、これを渡してほしいと一枚の紙を渡され、また、次に〇〇職員を知っていますかと別の職員の名前を尋ねられましたので、私の家の裏の職員で多治見保線区に勤めていますと答えたところ、これを渡してほしいとまた一枚の紙を渡されました。名前を尋ねられた二人の職員は、私の弟と同級生で子どもの頃から一緒に遊んだ仲間です。

私は職場に戻り、何だろうかと手渡された紙の文面を見ると、なんと行政整理の通知書でした。私はこんな大事な書類を預けたが、正直、私ではなかったことにホッとする反面、国鉄たるものが封筒にも入れず、郵送もせず駅で他人に預けるなんて、二人の青年の身上を何と思っているのだろうかと思立たしくもありました。

私は、二人にどうやって渡していいものか思案にくだっていました。翌日、家にあった封筒に入れて、それぞれの家族に預かって来ましたと言って手渡しました。この時、

紙一枚で喜びも悲しみもあることを痛切に感じました。

私は昭和17年、特修科(高等三年)卒業時に朝鮮総督府鉄道局を受験し採用され、城津駅(現北朝鮮)への通知をもらいました。その時、叔父は元山府(現北朝鮮)の府尹(市長)で兄は警察官(現韓国)をしていましたので、この真中の京城(現ソウル)に変えてもらうよう変更の手紙を出したら、龜山駅(京城駅)に行くようにと通知があり、一人で旅立ち元町の駅に着きました。

私は、昭和19年11月、満18歳に徴兵検査第一乙種に合格し昭和20年4月に召集令状がきて、再戦に挨拶もなしで海軍に入隊しました。同年8月6日、広島に原爆が落とされ、市内が全滅したと教えられ、それから15日には日本が戦争に負けたと知らされました。私は、城津駅に就職していたら、陸軍に入隊して満州へそしてシベリアに送られどうなっていたか分かりませんでした。

幸いにも、昭和20年11月朝鮮半島から故郷に帰り、父の百姓の手助けをしていた時、友人からの誘いで国鉄の採用試験を受け、合格して昭和22年2月多治見保線区、そして24年多治見駅へ、それから国鉄に35年間無事故で勤めさせてもらった事に日々感謝しています。

人間の運不運は、一枚の紙で決まってしまうことの重さを、これほど感じたことは有りませんでした。

国鉄に 永く勤めて 有り難く
来舟も送って 親い頂く

一人でも続ける戦没者慰霊祭



西濃支部
澤邊 邦雄

「首を回らせば五十有余年、人間の是非は一夢の内…」と言った、良寛の詩が、他人事と思えなく、切実に感じる私、93歳を迎えました。この年までに、世間の為にも何事を為し得たかを顧みたり、戦没者に思いを馳せて真に悟れたる思いに擊られます。

先の戦争では、開戦前から終戦後まで激戦地に在りながら、命を承らるることが出来たのは幸運であったと思うとともに、同じ中隊へ同時入隊した45名の同年の戦友の内20名がガダルカナルを始めとした激戦で、武運拮据で戦死し、戦後も逐年他界して、現在生存者は、私を含めて僅か3名。

この奇跡的幸運を感謝し、物故者慰霊の為、昭和55年以降毎年行ってきた歩兵第229聯隊(防諜名は南海派遣、沼第8925部隊)の慰霊祭も、最高630名の参加であったが逐年減少したために、岐阜県の生存者のみで行って来ました。参加者の減少は如何ともなし、趣向に乏しく、昨年に至っては遂に参加が私一人となりました。それでも毎年、岐阜の護国神社で慰霊祭を催行していただけのため、物故者への思いも絶ち難く、体力の続く限りは参拝したいと思い、これが健康維持の縁ともなっている様に思っています。

幸運、おそらくは神の助けと言うべき奇蹟について思い出すのは…すでに戦況不利の状況下の昭和18年5

月、新米の見習士官として、最初に戦線に参加したソコモ群島のニュージョージア島ムダンの戦線で、アメリカの上陸を策した舟艇群約100隻に対して、我が連隊で最初に砲撃を加えたのが、私の歩兵砲小隊の41式山砲でした。その際2、3隻の敵船に命中弾を与えたため、敵が混乱に陥り一部が逃走、一部が敵地に上陸したという戦果を挙げました。これは文字通り隊員が命の限りを戦った結果であり、その中には分隊長以下陣中兵、他の砲術要員4名戦死という痛しい犠牲の結果であったことを思えば、戦果のみを誇る気持ちには到底られません。この時の戦果は、命懸けで奮闘した隊員達の成果であった事を思い、このような奇蹟が起きたのは、神の助けが有ったのだということを経験をした私は、生涯を懸けて故人達の安らかなご冥福を祈る気持ちをご理解いただけたと思います。

その後の陸上戦闘では、陣地前に迫った敵部隊を砲撃したり、戦車を撃退したりしましたが、逆に迫撃砲や爆弾の雨に悩まされました。中隊では戦闘前に80名前後の隊員も、ラッフルへ無傷で帰着したのは16名でした。私の小隊でも分隊長以下多数の死者を出したために、今日も毎朝の読経とともに御魂の安らかな祈り続けています。

これからの人生は、世間に迷惑を掛けないよう健康保持のために散歩、体操、写経、読経と教育勸学奉順に心がけています。



温泉に浸かり 川柳を楽しむ

大府支部 家田 采

大府柳会は、早いもので発足後1年が経過しました。同会は、毎月1回開かれる大府市文化協会主催の「府柳クラブ川柳会」に参加しています。

6月は府柳会の方達23名と知多半島の山海温泉に行ってきました。心ゆくまで温泉に浸かり杯を交わし、句を詠んでちよっと洒落こんできました。

川柳と言っても難しく考えず自分を詠み、時事を詠み、人間を詠めば次々と句は出て来るものです。辞書も手放せません。そして新聞、雑誌等にも注意深く読むようになりボケ防止にもよいようです。一度やってみようかとお思いの方、ぜひ大府支部の柳会を覗いて下さい。



静岡地方本部長表彰 受賞して

島田支部 鈴木 安

この度、永年に回り島田支部役員として、OB会の発展に寄与したということで、支部長等がわが家を訪れ家族みんなの前で、地方本部長からの表彰状を手渡されました。

振り返れば私は、昭和55年4月から平成23年3月までの31年間、支部役員として活動してきました。その中で特に、静岡管内各支部に先駆けて「OB会グラウンドゴルフ愛好会」を発足させ、初代会長として普及に努めて来ました。

米寿、卒寿を済ませた今、こうして健康で益寿、庭木の手入れに精を出していただけるのは、永年支部役員として各種行事やグラウンドゴルフを、みんなと一緒に楽しんで来たお蔭と感謝しています。

いつまでも楽しい人生を—ウォーキングの会— 浜松東支部 小松 義一

当支部は(中澤元忠会長)、平成22年に「ウォーキングの会」を発足させました。参加者は少人数ですが、支部の中ではすっかり定着し年2回(4月と11月)、毎回元気に多くの道筋や古墳、古刹及び万葉の歌などと、江戸時代の信仰の地を順次巡っています。

これまでに、姫街道を4回に分けて歩き、井の国、遠州山の辺など歴史街道も回っています。今年、4月には「遠州山辺の道」宮口地域を歩きました。この地域は、江戸時代には庚申寺の門前町や秋葉街道の寄町として賑わった所です。

こうして、各時代の歴史を垣見しながらみんな歩いていると、その時代の様子が窺え楽しいものです。

私たちの支部では、出来るだけ多くの会員を募って、歴史を学びながら健康に努め、いつまでも楽しい人生を送りたいと思っています。



インストラクター

水墨画で支部と地域に貢献



中津川支部
伊後 滝一

私は水墨画を始めたのは、平成6年に当地の中部電力ギャラリーで開催された水墨画グループの展覧会を見学していた際、その会の会員である親戚の方に誘われ入会、その後9年間指導を受けながら公募展やグループ展に出品してきました。

その後、一人であらみながら描いていましたが、市が主催している地域公民館の「水墨画の会」に参加して、その会員と一緒に、老人ホームや喫茶店で作品を展示して、みんなに楽しんでもらうようになりました。

今年7月からは、私が指導員となって、以前地域と一緒に



▲それぞれの作品を手

に学んだ人たちとOB会の「中津川支部水墨会」を結成し、毎月2回市の「ふれあいプラザ」の一室を借りて、水墨画を楽しみながら学ぶことになりました。まだ、人数は少ないのですが徐々に仲間を増やしていきたいと思っています。

将来は、各自がオリジナル作品を描いて、グループ展が開ければと考えています。

我が支部の誇り



郷土 松阪の由緒ある三大祭り

松阪支部 長島 順一郎

私たちの支部がある松阪市は、三重県の中部に位置し伊勢湾に面しています。この街で我が支部が皆さんに誇れるものは沢山ありますが、その内の郷土松阪の三大祭「初午大祭、松阪祇園祭り、松阪氏郷祭り」をご紹介します。

初午大祭は(毎年3月)、日本最初の厄除観音の関ヶ原山藤松寺で、毎年3月初めの午の日に3日間連続で行われます。特に厄年に当る人の参拝が多く、境内にわざと持物を

落とし厄払いをします。宵の宮の日は近隣の参拝者で、溢れんばかりの人が集まり交通規制がしかれ、数百の露店が並びます。

松阪祇園祭りは(毎年7月)、京都で始まった御霊会に由来し、京都を初め日本各地に疫病が流行した時、八坂神社が神輿を送って厄払いをしたのが始まりでした。このお祭りは「松阪神社、御霊神社、八雲神社」の神輿を三社神輿と言い男神、女神輿そして子供神輿が繰り出し「チョーサヤ チョーサヤ」の威勢のいい掛け声で、勇壮に市内を練り歩き11万人もの見物客で賑やかに行われます。(チョーサヤの由来は「千代に栄えよ」から来たと言われてます)

私の住む西町においても、小学校校庭で神輿御霊入れ神事を行い、子供たちを先頭にチョーサヤの掛け声とカチカチと拍子木を打ち鳴らし、町内を練り歩き疫病払いや子どもたちの成長を祈願します。

松阪氏郷祭りは(毎年11月)、松阪に築城し町を繁栄させた、戦国武将蒲生氏郷を讃える祭りです。蒲生氏郷は、初め近江日野城主、次に松阪城主、最後に陸奥黒川城主になった武将で、織田信長の次女冬姫を妻に迎え手柄を発揮しました。東馬した氏郷公の「いざ 出陣」の合図で冬姫、甲冑隊、太鼓隊等が悠然と市内を歩きます。町の中には出店やゲーム場等が所狭しと並び大変な賑わいを見せます。

また、松阪には本居宣長や松阪牛と言った見どころ、食べ物などまだまだ沢山ありますので、ぜひ松阪を訪れわが郷土を堪能して下さい。



▲地域で長く松阪氏郷祭りの神輿

文芸

【短歌】

血糖値 高くなるよと 加減する
 煉の料理に 安堵して食う
 菊しいと 思うな人の 食なれど
 育った野菜 天の恵みや

美濃大田支部 松本 弘

甘えては 勿体なしと 一人行く
 通院も早や 十五年過ぎ
 今年もまた 一つ年とり 金舟越し
 長く生きたと びつくりもする

津津支部 山田寿男

水張りし 田の薈に朱の帯 ゆらめきて
 電車通れり きざ波の立つ
 無人駅 切符売場に 人のあて
 もの言うは易し ○日なれば

上伊那支部 竹内滋一

支達と 語りて教わる 新知識
 メモ帳持参の 今の世の中
 三才の ヒフにいくつと 垂ねれば
 「スリー」と二本指を 差し出す

豊田支部 鈴木まよ子

戦争の 犠牲たちは 安らいだらうか
 八月又 還り来る
 戦争中 生き残れたら 幸運を
 しみじみ想う 終戦の日は

津支部 岡 俊雄

【俳句】

白鷺や ひど汚されし 置き藁
 遠火・薪と 休む間もなし 流れ星
 説笑や 意気ある声に 夏の風
 雪の下 人肌暑し 梅雨の入り

四日市支部 小川 勇

秋風や 石の声する 渾の庭
 音もなく 湖畔に寄せる 水の秋

美濃支部 大倉照二

銀赤散る 異変への路を 選けつとも
 墳丘の 埴輪はてりし 秋日差

西濃支部 高畑正良

白舟まで 生きたつもり 秋支度
 慣えば よいでは済まぬ 人の道

大府支部 家田 采

何故急ぐ 意謀重ねよ 白菊粧
 橋の下 流れを支える 石の祭

名寄屋運動車両支部 服部幸夫

夏空に 妻の小言と 蝉の声
 受売りも いつの間にか 板につき

岐阜工事務局支部 弓削英一

ちぐはぐな 答えて笑う なこやかさ
 八十路今 心の備え まだ出来ぬ

大府支部 的田博治

【川柳】

編集後記

今年の夏は、台風そして雨となかなか予想がしづい天候が続く、特に雨による土砂崩壊、河川の氾濫等が各地で発生し大きな被害をもたらしました。

しかし、季節は移ろい秋の気配が肌感に感じられ、過ごし易い時季を迎え地本・支部がスポーツ、旅行など活発に活動を広げられ、一層の連携・連帯の輪を強くしていただきたいものです。

1. 本部・支部だよ

各支部の活動が、地域を意識した活動に変わりつつあり、高齢者を対象とした講演会、なつかしの鉄道展の開催、地元G-G同好会との旅行、地域の「リニア実験展」見学会に参加するなどOB会の目指す「地域との共生」に前向きに取り組み姿が見られます。また、支部内の活動では、夏休みに「孫たちと一緒に」リニア鉄道館に行って、子どもたちの笑顔に触れ大変喜ばれている様子が伝えられています。さらに、今年白寿を迎えられる会員の方が、総会に出席され率先して乾杯の音頭をとる等、懇親会の主役となっています。私たちも、この元氣と前向きな姿勢を見習いたいものです。

2. 読者のひろば

半田支部の加藤さんは、就職してから武蔵線とかかわり、武蔵線での貴重な体験や同線の移りゆく姿を、しっかりと見て将来に夢を馳せています。

陶都支部の古橋さんは、91歳で介護施設に入れ、これからの人生をじっくりと観を養え、今後に希望を持った人生設計を組み立てておられます。

恵那支部の西尾さんは、昭和26年の行政整理で「一枚の紙の重さ」の思い出を大層深く語られています。

西濃支部の澤邊さんは、自分の幸運を神に感謝しつつ、今もって亡くなられた親友たちの霊を祈り続けておられます。強い強い精神力の持ち主だと感嘆しています。

3. 投稿ページ

恵那支部の鈴木さんは、本部長表彰を受賞され、OB会に永年携わって来られたことへの誇りが感じられます。大府支部の家田さんは、支部の川柳同好会が地元の川柳同好会と合同で温泉に行き、思いっ切り川柳を楽しんだ様子を投稿していただきました。浜松支部の小松さんは、支部の「ウォーキングの会」が、多くの会員が健康でいつまでも楽しい人生を過ごせるよう望んでおられます。

4. インストラクター

中津川支部の伊藤さんは、今年6月支部で「鉄道中津川水害会」を結成、みんながオリジナル作品を描けるよう大きな夢を持って取り組まれています。

気軽に参加できる

さわやか ウォーキング

[2014年9月～12月]

参加費無料
一部のコースを除く

予約不要
一部のコースを除く

駅がスタート!



10/28
東海道新幹線 浜松駅スタート
二島城 東高岡城

10/19
東海道線 沼津駅スタート
沼津城



11/9
中央線 中津川駅スタート
高野城



9/22
紀勢線 熊野中駅スタート
世界遺産・熊野詣



12/7
新幹線 高尾五ヶ所駅スタート
監誓の滝

※主催：JR東海

詳細については、JR東海の駅にある専用パンフレットまたは、ホームページをご覧ください。
さわやかウォーキングホームページ <http://walking.jr-central.co.jp>